

WISPA Mid Atlantic Broadband Summit 要旨

6月18日開催。ブロードバンドおよびインターネットサービスを配信するISPを広範にカバーする業界団体であるWISPAが主催するイベントで、バージニア州・近隣州のISPや業界パートナー、政策立案者150人ほどが参加。

州政府、連邦政府、いずれからもBEADプログラムにかかるプレゼンが設けられたが、連邦政府からの補助金を州政府がいかに獲得し活用していくのか等、聴取の反応は州政府に集中していた。

また、インフラの100%普及についての議論では、光ファイバーとその他ワイヤレス等の技術の両方をうまく活用する必要があること、光ファイバーの敷設にはコストと時間を要するため、まずはワイヤレスによるブロードバンドの提供からスタートし、その後光ファイバーに転換する方策も有益との発言があった。

元FCC委員候補のジジ・ソーン氏からは、ネット中立性規制について2015年の内容を復活するだけでは不足しており、現在の市場環境に応じた規制検討が必要と問題提起がなされた。また、ネット中立性に限らず、政権変更のたびに方針が右往左往するFCCの状況は好ましくない、議会がきちんと立法すべきではとの意見も出された。